

とくていひえいりかつどうほうじんゆすはらにし

特定非営利活動法人ゆすはら西

～ジビエでマイナスからプラスへ～



獣肉解体処理施設の建設とジビエカーの導入



小学生が自由課題でジビエを取上げ 食育へ!

経緯

- 農産物への獣害をなくすために、捕獲するシカやイノシシ等の命を無駄にしたくないという思いから、有効活用策として自家消費をする動きが出始めた。ここから発展した「『ジビエ』をお金に換える仕組み」としてNPO法人を設立し、人も物もお金も循環する活力ある地域づくりを開始した。

取組内容

- 獣肉解体処理施設の建設とジビエカーの導入(平成29年度)。
- 上記の運営者となる特定非営利活動法人ゆすはら西を設立(平成30年3月)。
- 元ゆすはら応援隊員や移住者等の担い手人材を雇用(平成30年4月)。
- 農林水産省の「国産ジビエ認証」を県内で初取得(令和元年12月)。
- コロナ禍においても、新たな商品開発や梼原町のジビエの魅力を発信。

活動の効果

- ジビエカーを導入し、松原地区を中心に運用することで施設への安定的な搬入を行ったことにより、獣肉解体処理施設稼働1年目にして搬入計画頭数を達成し、ジビエの安定的な供給を強みとして販路拡大につなげている。
- 自立を目指し自分たち自身が動かなければいけないという思いで取り組んだことが評価され、自分たちの気づきや自信につながった。

応募団体からのアピール・メッセージ

子供たちへの食育、そして将来の担い手の育成へ、さらには地域内外の交流の場の創出へとつなげていきます。